

『研修委員会』のご紹介！

たかつぼでは5事業所総勢9人の職員で研修委員会を構成しています。8月末で、10項目の研修課題を実施してきました。順調???。そんな中、委員の頭を悩ませているのが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策！集団集合研修？講義形式？すべて3密、密集・密閉・密接に該当してしまう状況。

1年間の事業計画を作成していた時には思いもよらぬ展開に…、4月の第一声が、「施設長…どうしよう…」でした。講師の選定はじめ、研修の形式、今年度年間計画が無事実施できるのだろうか…。でも、たかつぼで働く職員にも不安なく業務が行える環境を、研修を通し演出していきたい。研修委員の熱い思いと、今まで当たり前に行っていたことが、こうまで、頭を悩ませるのか…。研修方法についても、いろいろなところに問い合わせを行い、効率的な研修方法について議論もしました。

①内容…どのような方向へ導いていきたいのか？②講師…知名度。あの人の話、技術を学びたい。この人が言っているんだから、実践してみる価値はあるかも。③資料…情報化社会で、資料ならインターネットでいくらでも手に入るし、施設でなくても個人でも勉強はできる。たかつぼの研修ならではの資料づくり、ぐっと目を引く演出。頭に飛び込んできそうな気付き。④振り返り…果たしてどれくらい、心を、内面から、本人を動かしたのか。そこから何を学び、何に気づいたのか。感想としては、逆に当たり前でない状況や試練が、研修委員を動かし研修スタイルを考えさせてくれる良いきっかけとなりました。資料の工夫では、文章に頼らず、出来る限り“可視化”を取り入れ、イラストや漫画チックな、一目で“ちがう”と、見入ってしまいそうな演出。**振り返りシート**では、資料内容について、問いかけるような、当然、自分なりの考えを描けていなければ、回答しにくい状況。職員は、「何を感じたのか？」その思いが確認でき、次へのステップへとつながりました。アンケートの記述も、今まで以上に記入してくれる職員が増え、職員の思いが伝わってきます。まだまだ、改善の余地はあるようですが、一つのモーション、きっかけになっているようです。もう一つ、研修と言うその時間のみの特なものではなく、日々の業務を有効活用しながら、自分の思いを試す、実践的な演習、あの職員あの技術は、どういうポイント、思いからなしえているものなのだろうか？使えるものは何でも使って、このコロナを乗り越えていこうと研修委員だけでなく、職員一人一人の思いが、自分磨きに繋がり、気づきと次のステップに繋がっているように感じます。がんばれ、たかつぼ職員！

9月行事予定

- ・2日(水) 第2回入所検討委員会
- ・12日(土) 第2回総合防災訓練
- ・16日(水)~22日 敬老お菓子・飲み物週間(デイ)
- ・20日(日) ミニ運動会(GH)
- ・21日(月) 敬老会(特養・GH)
- ・遠山医院 回診 毎週火曜日
- ・荒川中央クリニック 毎週木曜日

『ちょっと、遠回りして…』

グループホームまで顔を出すのに、いつもは楽をして、敷地内を通り抜け、近道しているのですが、今日は天気も良いことですから、ちょっと遠回りして…。

デイサービスの裏手に差し掛かった時に、目に飛び込んできたのが、鮮やかな紫色をしたアジサイ？！



デイサービスの職員から「施設長、そんなところで何してるんですか？」「この花ね、通りがかる人もきれいだからとよく写真撮っているんですよ…」なんと、撮影スポットになっていたようでありました。まだまだ気づかされることばかり…。

6月~7月の、この時期にしか見られない瞬間。新型コロナウイルス感染症対策で切り詰め気持ちの時期に、ほっとできた、瞬間でした。建物の裏側にあるなんて、もったいない気もしますが、ぜひ皆さんも、近くに来たには、立ち寄ってみては、いかがでしょうか。



令和2年 7月2日 撮影

4月：職業倫理

1. 私たちの仕事は、何のための仕事なのか？

介護福祉士とは…

「専門的知識及び技術をもって、身体又は精神上の障害がある者につき、心身の状況に応じた介護を行い、並びに、介護に関する指導を行うこと」が主たる仕事であることと定められていること。

2. 個別ケアとは

究極の個別ケアは「その人」にだけ「本人の希望」を大切にすること。

認知症ケア研修
こんなときどうする？

ナースコールに「イライラ」



4月：個別ケア

7月：認知症ケア

4月：職業倫理

「施設に於ける義務について」
自分の業務が施設に於ける義務をどのように果たすか？
「施設に於ける義務について」
自分の業務が施設に於ける義務をどのように果たすか？
「施設に於ける義務について」
自分の業務が施設に於ける義務をどのように果たすか？